

# 平岡東小だより

特別号

2021.9.29

平岡東小学校

今年度、全国の小学6年生を対象に、5月27日(木)「2021年度全国学力・学習状況調査」が実施されました。国語と算数それぞれで、「知識・技能」を問う問題や「活用する力」「評価改善する力」を問う問題で、調査がおこなわれました。

その調査結果が9月に公表されました。今後の教育の改善と向上に向けて、調査結果から、本校としての課題と改善策等を以下のようにまとめましたので、ご報告させていただきます。

## 《学力状況調査の結果》

**国語**…国語全体の結果は、全国平均をやや上回っていました。

文章の構成や展開を考える力はよく身につけています。文章内で、主語と述語の関係を捉える問題、内容の中心となる事柄を把握する問題は正答率が高かったです。日頃から文章を読み、内容を把握する成果が表れていると考えます。課題は、以下の三点です。

(1)「自分の考えをまとめて書く、文章内容を詳しく書く」といった思考や表現です。

文章や資料から意図を読み取り、自分の考えをまとめる問題や自分の考えを具体的に表現する問題が課題であると考えました。

(2)「漢字の習得」です。漢字の字形に注意し、繰り返し書いて習得することに加えて、漢字のもつ意味を考え、文や文章の中で適した漢字を使うことができるように、漢字の読み書きの学習をおこなっていくことが大切であると考えます。

(3)「時間の使い方」です。後の問題になるほど無解答率が高かったことから、「時間配分を考えながら解く、問題の順を工夫して解く」等、テストにおける時間との向き合い方を意識して慣れていくことは、中学生以降、定期テスト等でも必要となってきます。

今後も文章中の語句の役割や関係、漢字のもつ意味を考えて正しく書く基礎的・基本的な内容の定着と、根拠を明確にして自分の考えを表現する思考力、判断力、表現力等を育成するバランスの取れた学習の取組を進めていくことを大切にしております。

**算数**…算数全体の結果は、全国平均をやや下回っていました。

図形や速さを求める基本的な公式を理解し、公式を基に解答することはできています。日々の学級での学習や家庭学習での効果が出ていると考えます。

また、多くの問題で、本校の無回答率は全国平均より低く、最後まであきらめず問題を解いていこうとする姿勢が見受けられました。

課題は、以下の二点です。

(1)複数の図形を組み合わせた図形の面積について考える問題

(2)商が1より小さくなる除法を立式する問題。

上記2点ともに、示された問題内容の説明を解釈し、なぜその計算式を考えたかという理由を説明できるよう、「求め方を筋道立てて説明する学習」、「除法における商の意味や単位量当たりの意味を説明する学習」を充実させることが大切です。式の成り立ち性質を見出し、表現する力や計算の順序のきまりを理解する力を身につけさせる学習指導に努めます。

## 《児童質問紙調査の結果》

<b>良好</b>	肯定的な回答 [当てはまる、どちらかといえば当てはまる] をした割合が高い
・ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	97.9%
・ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	97.9%
・ 友だちと協力するのは楽しいと思いますか。	96.4%
・ 国語の勉強は大切だと思いますか。	98.6%
・ 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。	94.3%

<b>課題</b>	肯定的な回答をした割合が低い [当てはまる、どちらかといえば当てはまる] [ほぼ毎日、週に1～3回]	本校	全国
・ 新聞を読んでいるか。		7.6%	14.8%
・ 5年生までの授業で、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合えたか。		66.9%	74.6%

※授業時間以外で、1日あたりに読書する人と読書しない人の差が二分されていることがわかりました。

	2時間以上	1～2時間	30分～1時間	10分～30分	10分未満	全くしない
本校	7.9%	8.6%	20.1%	23.7%	15.1%	24.5%
全国	7.4%	10.8%	19.2%	23.8%	14.7%	24.0%

## 《今後の改善策》

今回の全国学力・学習状況調査の結果から、学習面では算数の正答率がやや低い傾向であるとわかりました。この課題に対応するためにも、加古川市全体で取組を進めている協同的探究学習による授業改善の研鑽に励み、「主体的に言語活動に取り組み、共に高め合う授業づくり」を今後も継続して取り組んでまいります。その中で、多様な考えや解法が可能な非定型問題に児童が主体的に取り組み、一人一人の問題への解き方や自分の考えを表現し、他者と関連づけを行う対話的な学びを様々な教科で取り入れるなど、基礎基本を確実に身につけ、深い学びにつながる授業を一層充実させることに力を入れてまいります。

質問紙では、「地域の行事に参加している」「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」と回答した児童の割合が、全国平均と比較して高い傾向にあり、地域と関わろうとする意識の高さがうかがえます。また、普段の生活習慣を問う質問、達成感や挑戦心を問う質問、規範意識を問う質問等でも、本校は全国平均よりも肯定的な回答率が高く、きまりを守ることやいじめを許さないことについて、正しい認識をもっていることが確認できたことは、人を大切にする人権意識の基礎が培われている児童が多い表れだと考えております。

今後も児童の気持ちにできるだけ寄り添い、日々の児童の変化について、直接的なかかわりや日記・アンケート等で、早期発見及び情報交換・情報共有し、お互いに心の通った教育活動を進めていけるよう、取り組んでまいります。

本校の学校教育目標に掲げている『自ら学び 共に伸びる子の育成』のためには、保護者の皆様や地域の方々からのご協力が必要不可欠です。今後とも、平岡東小学校の教育に変わらぬご理解ご支援を、何卒よろしくお願いいたします。